ボーリング柱状図

調　査　名

事業・工事名

ボーリングNO.									

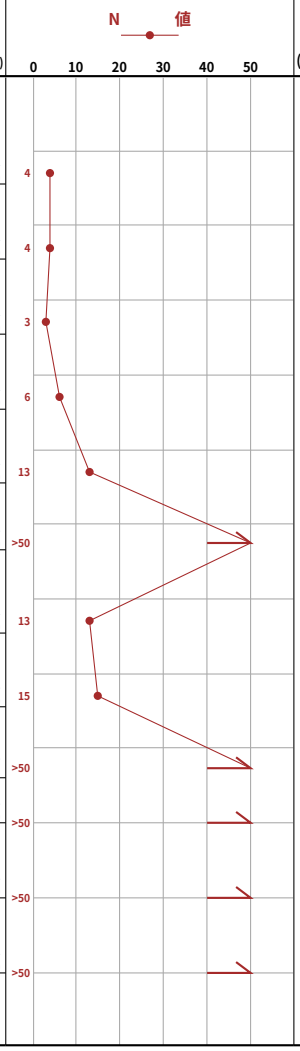
シートNO.

ボーリング名	No.B-1			調査位置						北　緯	36 ° 23 ' 16.0000 "
発注機関	栃木県足利土木事務所					調査期間	2009-12-08 ～ 2009-12-15			東　経	139 ° 28 ' 33.0000 "
調査業者名				主任技師		現場代理人		コア鑑定者		ボーリング責任者	
孔口標高	91.62 m	角度	180° 上 90° 下 0° 0.00 °	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南 .00 °	地盤勾配	鉛直 90° 水平 0° 0.00 °	使用機種	試錐機	ハンマー落下用具	
総掘進長	12.00 m								エンジン	ポンプ	

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	地層岩体区分	孔内水位 (m) ／ 測定月日
					表土 (SF)	暗褐			黒ボク主体の表土　全体にルーズ		
	90.92	0.70	0.70								
1					礫混じり粘土 (CH-G)	暗茶褐～茶褐灰～灰褐		中位	混入礫φ5～60mmの角礫主体で不規則に混入 含水中位～多い 粘性中位～やや強い 全体に砂分混入 3.00～4.40m間の含水量がやや多く軟らかい		12/08 2.80
2											
3											12/14 3.80
4	87.22	3.70	4.40								
5					粘土混じり砂礫 (GS-C)	暗灰～暗青灰～茶褐	中ぐらい		全体に含水多い 礫径φ5～60mm主体の角礫 最大φ100mm内外 礫分70～80% 全体に粘土を混入 マトリックスは細中砂・粘土 6.30～6.85m間チャートの転石で非常に硬質(棒状コア) 6.85m以深は礫径φ5～30mmを主体とし全体に粘土を多く混入		
6											
7											
8	83.42	3.80	8.20								
					礫混じり粘土 (CH-G)	茶褐～茶褐灰		硬い	含水中位　粘性中位　全体に不均質で細砂を少量混入　細礫少量混入 下部、砂・φ5～30mmの角礫混入		
	82.72	0.70	8.90								
9					風化砂岩 (Ss)	暗褐～茶褐灰～灰褐			含水中位～少 9.70m付近まで粘土状～塊状を呈す 以深固結状を呈し礫状のコアになる 亀裂が多い		
	82.02	0.70	9.60								
10					砂岩 (Ss)	灰褐～青灰			固結状を呈し礫状～塊状にコアになる 亀裂多く亀裂面に粘土を介在 11.80mから泥質砂岩になる		
11											
12	79.62	2.40	12.00								

標準貫入試験

深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0－10	10－20	20－30	打撃回数／貫入量 (cm)	N値
1.15	1	1	2	4／30	4
1.45					
2.15	1	1	2	4／30	4
2.45					
3.15	1	1	1	3／30	3
3.45					
4.15	1	1	4	6／30	6
4.45					
5.15	3	4	6	13／30	13
5.45					
6.15	7	43		50／20	>50
6.35					
7.15	3	4	6	13／30	13
7.45					
8.15	9	3	3	15／30	15
8.45					
9.15	12	20	18／5	50／25	>50
9.40					
10.00	50／0			50／0	>50
10.00					
11.00	50／0			50／0	>50
11.00					
12.00	50／0			50／0	>50
12.00					



原位置試験 深度 (m)	試験名および結果	試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験	掘進月日
						12/08
						12/09
						12/10
						12/12
						12/14